

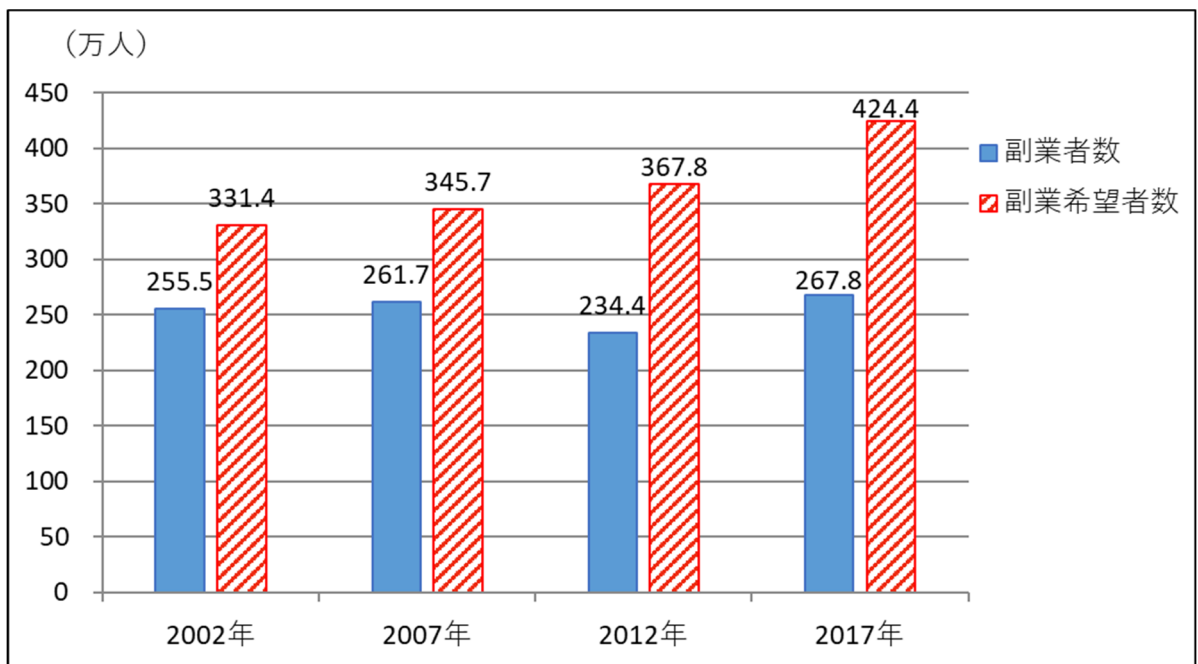
(参考2)

平成29年就業構造基本調査の結果から

○副業を希望している方は増加傾向

副業希望者（現在就いている仕事を続けながら、他の仕事（副業）をしたいと思っている者）の数は増加を続けているものの、実際に副業をしている者の数は横ばいで推移していることが分かります（図1）。こうした結果から、副業を希望する方が、その希望に応じて副業を行える環境を整備していくことを通じて、柔軟な働き方を推進していくことが重要となっていることがみえてきます。

図1 副業者及び副業希望者の推移（2002年～2017年）



○育児をしながら働く人の割合が上昇

年齢階級別に育児をしている人の有業率をみると、全ての年齢階級で5年前より高くなっており、育児をしながら働くことができる環境整備が進んでいることが分かります（図2）。

図2 年齢階級別育児をしている人の有業率（2012年、2017年）

